

提案概要

- 船上排出と陸上排出との二重計上(※)を防止しつつ、**水素やアンモニアに加えて、バイオマスやカーボンリサイクルメタンの船上排出をゼロ扱いと評価**するためのガイドライン案を提案。
- 具体的には、各燃料にライフサイクルを考慮したラベリングを付す。ラベリングは燃料油供給簿(BDN)に記載され、「化石燃料由来」とラベリングされていれば船上排出をカウント、**「バイオマス由来」又は、「回収CO2由来」又は「ゼロ炭素」とラベリングされていれば船上排出ゼロカウント**。(サプライヤーがラベリングを証明できない場合、「化石燃料由来」としてカウント。)
- IMOにおける規制枠組(EEXI, EEDI, CII, DCS)への適用(是非を含む)については、ガイドラインが国際合意された後に検討することとなる。

※二重計上とは：例えば燃料燃焼時に排出したCO2を回収して炭化水素燃料を作る際に、燃料生産国の総排出量の中で当該CO2量が計上されるにもかかわらず、船上でその燃料を燃焼させる際に再度排出されるCO2排出量を国際海運からの排出量として計上すること。

【現状、カーボンリサイクルメタンを使用した場合】



現状：船上排出をゼロカウントとするルールが未整備

陸上排出 (Well to Tank)

船上排出 (Tank to propeller)

【日本等提案をベースとしたガイドラインが策定された場合】

国際規格に基づきカーボンリサイクルメタンであることを、サプライヤーが証明できた場合には、「回収CO2由来」とラベリング。

船上排出ゼロカウント!